

明電興産新社屋 明興ビル 100%CO2フリーZEROエミッションビルが完成

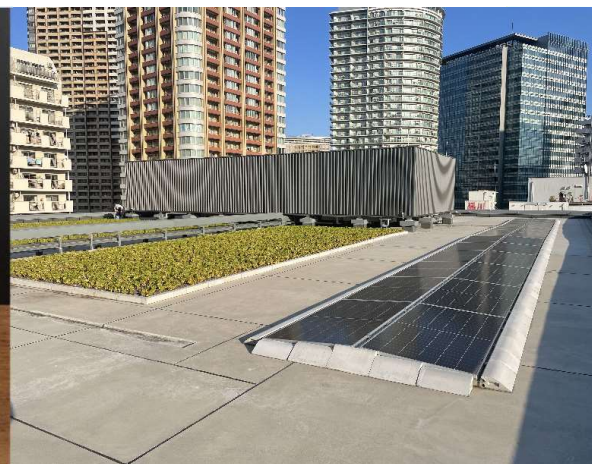
明電興産の本社社屋の老朽化に伴い、ABW（アクティブベースドワーキング）を取り入れた新社屋に建て替えた。新社屋では、自然採光外気を取り入れる開口窓の最適配置、照明のLED化等実施し、外皮性能を向上させ大幅な省エネを実現した。また、明電舎新開発のEVマルチPCSを導入し、太陽光パネルで発電した電気を蓄電池やEVへの充放電、新社屋の自家消費電源として利活用している。これらにより、建築物省エネルギー性能表示制度「BELS」の最高ランクの認証と、経済産業省が定義するZEBの評価の一つ「ZEB Ready」の認証を取得した。（BEI値0.31）



明興ビル



BELS認定証



屋上緑化と太陽光パネル



蓄電池とマルチPCS

明電興産新社屋 明興ビル 100%CO2フリー-ZEROエミッションビルが完成

さらに当社グループの風力事業会社であるエムウインズの風力発電所で発電した Made in MEIDENの CO2フリー電力を使用することにより、ビル事業運用上 100%CO2フリー-ZEROエミッションビルを完成させた。

明電グループの再生可能エネルギー

総合研究所・大崎会館・明興ビルでは
明電グループの風力発電所で生まれた
Made in MEIDENの
CO₂フリー電力を使用しています



made in MEIDEN

(株)エムウインズ
銚子しおさい風力発電所



↓ その他電気

東京電力
エナジーパートナー(株)

→ 非化石証書 →

→ 非化石価値取引市場 (日本卸電力取引所)

電力消費によるCO₂排出ゼロ



総合研究所 大崎会館 明興ビル

→ 電気の流れ → 環境価値の流れ

明電グループでは、2030年を目標年とする温室効果ガス排出削減目標を掲げています。

- ・事業活動に伴う排出30%削減(2019年度比)
- ・製品の使用時の排出15%削減(2019年度比)

この目標は、パリ協定と整合するSBT (Science Based Targets) 認定を取得しています。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION



MEIDEN

Quality connecting the next

明電グループは、事業を通じて、持続可能社会の実現に取り組んでいます。